

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	里山創成室	職	室長	氏名	奥本 勉
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	里山里海における新たな価値の創造	里山創成ファンド採択件数(累計)	件	45 (H25)	30 (H24)	(H25)	
施策2	多様な主体の参画による新しい里山里海づくり	いしかわ版里山づくりISO認証団体数	団体	180 (H25)	169 (H24)	(H25)	
施策3	生物多様性の恵みに対する理解の浸透	グリーンウェイブ参加団体数	団体	30 (H25)	30 (H24)	(H25)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
						(年度)	(年度)						
施策1	課題1	里山里海における新たな価値の創造	里山創成ファンド採択件数(累計)	件	45 (H25)	30 (H24)	(H25)	1 里山創成ファンド事業資金貸付金	企業、NPO等	1,000,000			
								2 世界農業遺産活用推進・魅力発信事業	地域、県民、首都圏、佐渡市等	13,000			
								3 先駆的里山保全地区創出支援事業	地域	2,180			
施策2	課題2	多様な主体の参画による里山里海づくり	いしかわ版里山づくりISO認証団体数	団体	180 (H25)	169 (H24)	(H25)	1 いしかわ版里山づくりISO推進事業	企業、NPO、学校等	3,800			
								2 里山の森づくりボランティア推進事業	県民	3,700			
								3 里山のパートナーづくり推進事業	企業、NPO、県民等	6,000			
施策3	課題3	生物多様性の恵みに対する理解の浸透	グリーンウェイブ参加団体数	団体	30 (H25)	30 (H24)	(H25)	1 子ども里山学習プログラム推進事業	県民	615			
								2 いしかわグリーンウェイブ2013開催事業	県民	1,000			
								3 いしかわ里山サウンドウェイブ事業費	県民	2,400			

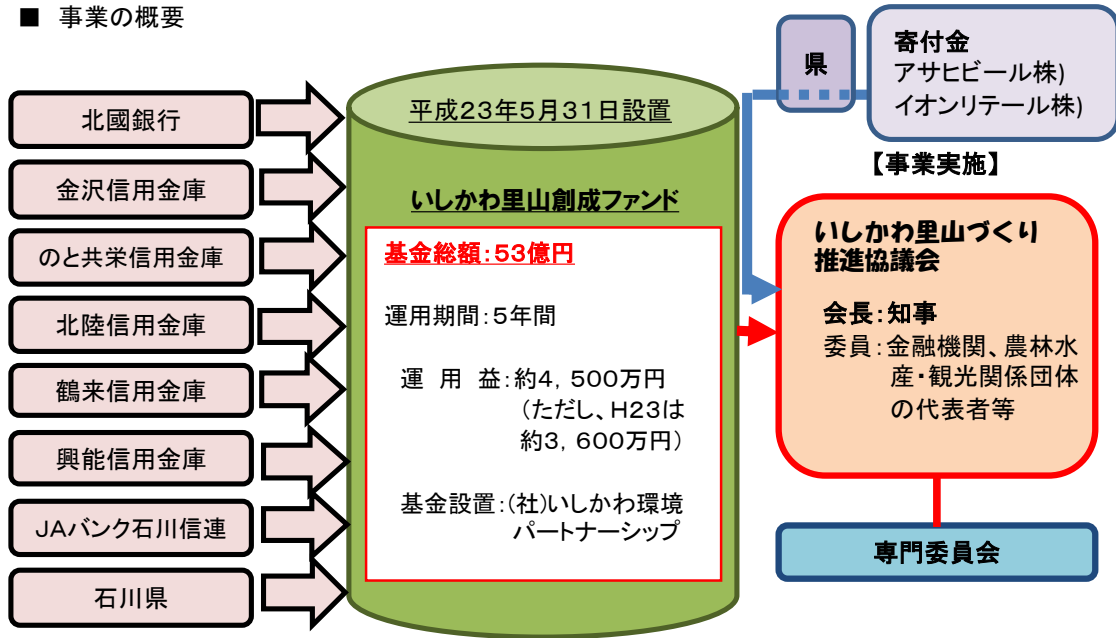
# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわり山創成ファンド事業資金貸付金	事業開始年度 H23	事業終了予定年度 H27	組織 環境部里山創成室
	根拠法令 ・計画等		職・氏名 専門員 奥野 充一
			電話番号 076 - 225 - 1478 内線 4272

### ■ 事業の背景・目的

県と地元金融機関で基金を造成し、その運用益と企業からの寄附金により、里山里海地域の振興、多様な主体による保全活動の支援、里山の地域資源を活用した生業創出などの支援、里山景観の保全・創出、里山里海保全の重要性に関する普及啓発等を行うことで、元気な里山里海地域の創成を図る。

### ■ 事業の概要



### 事業内容

1. 里山里海の資源を活用した生業の創出
2. 里山里海地域の振興
  - (1) 里山里海地域を元気にするイベント支援
  - (2) 里山の資源循環モデル構築による地域おこし
  - (3) 里山景観の創造
3. 多様な主体の参画による里山保全活動の推進
4. 里山里海の恵みの大切さについての普及啓発

### 施策・課題の状況

施策	自然と人が共生できる社会づくり					評価
課題	里山・里海の利用・保全					
	指標	里山創成ファンド採択件数(累計)			単位	件
	目標値	現状値				
	平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	45			12	30	

### 事業費

		(単位: 千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算				1,000,000	1,000,000	1,000,000
	決算				1,000,000	1,000,000	
一般財源	予算				0	0	0
	決算				0	0	
事業費累計					1,000,000	2,000,000	3,000,000

### 評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 世界農業遺産活用推進・魅力発信事業	事業開始年度: H23	事業終了予定年度:	作成者 組織: 環境部里山創成室 職・氏名: 専門員 瀬川 徳子 電話番号: 076 - 225 - 1478 内線 4258
	根拠法令・計画等	ふるさと石川の環境を守り育てる条例 石川県生物多様性戦略ビジョン	

**■ 事業の背景・目的**  
 平成23年6月、羽咋市以北の4市4町に広がる「能登の里山里海」が新潟県佐渡市の「トキと共生する佐渡の里山」とともに、日本初、先進国でも初めて、国連食糧農業機関FAOの「世界農業遺産」に認定された。  
 この認定を大きなこととして、関係者が一丸となって、新しい価値を創造し、元気な里山づくりを推進するために、県、4市4町、関係団体で「世界農業遺産活用実行委員会」を設置。  
 「世界農業遺産」の県内外への魅力の発信に加え、世界農御意産の本格活用と更なる価値の向上に向けた保全の仕組みづくりに取り組む。

**■ 事業の概要**

- 1 普及啓発(情報発信の継続)  
 世界農業遺産国際会議(仮称)等でのPR
- 2 交流人口の拡大  
 北陸新幹線開業を見据えた、首都圏での広報展開と受け地体制の整備  
 ①「のと學び」首都圏推進事業  
 ②企業と連携したスタディーツアーの実施等受入体制の整備
- 3 佐渡との交流・連携の推進  
 ①子ども交流(能登→佐渡)  
 ②農業者交流(能登→佐渡)  
 ③文化の交流(文化をテーマに合同シンポジウムを能登で開催)
- 4 価値の保全・継承  
 ①能登の里山里海人知恵の伝承事業  
 里山里海を保全・活用してきた人々「里山里海人」にスポットを当て、その活動内容、知恵・技術などを聞き取り広く広報する。  
 ②民間の取組支援  
 世界農業遺産の継承・保全に向け、ビオトープづくりなど地域主体の取組を支援

**■ 事業の実施主体**  
 世界農業遺産活用実行委員会(県1/2、市町1/2)

施策・課題の状況						
施策	里山里海における新たな価値の創造	評価				
課題	世界農業遺産の活用による里山里海の利用保全の推進					
指標	里山創成ファンド採択件数(累計)	単位	件			
目標値	現状値					
	平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	45			12	30	
事業費						
(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
事業費	予算		9,500	13,000	13,000	
	決算		9,500	16,799		
一般財源	予算		9,500	13,000	13,000	
	決算		9,500	16,799		
事業費累計			9,500	26,299	39,299	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
これまでの有効性						
今後の必要性						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	先駆的里山保全地区創出支援事業	事業開始年度	H23	事業終了予定年度		作成者	組 織	環境部里山創成室	
		根拠法令・計画等	石川県生物多様性戦略ビジョン				職・氏名	主事 橋本 竹史	
							電話番号	076 - 225 - 1469 内線 4269	

**■ 事業の背景・目的**  
 平成21年度から進めてきた先駆的里山保全事業により、地域住民が意欲的に取り組む里山保全活動を支援してきた。その結果、地域差はあるものの、いずれの地域においても里山保全活動に進化がみられたところである。  
 このため、里山里海の利用保全の取組に意欲があり、地域資源の活用や魅力の増強により活性化を図ろうとする地域に対して、情報提供・セミナーの開催や自立的な活動に向けた支援を県と地元市町が協力して行い、県内における地域主体の里山里海保全活動の裾野拡大を図る。

**■ 内容**

(1) **意欲ある地区の掘り起こし**  
 既に先進的に里山づくりに取り組んでいる「先駆的里山保全地区」などの情報提供やセミナーなどにより、里山づくりに意欲ある地域の掘り起こしを行う。

(2) **自立的な里山づくりに対する助成**  
 里山づくりに意欲がある地域に対し、住民による自立的な里山づくりに向けた取り組みを県と地元市町が協力して支援する。  
 ●対象:里山保全に意欲がある地域(新規地域は公募により選定)  
 ●補助金:300千円以内(地元市町も同額を助成)  
 ●事業期間:3年以内  
 ●活動内容:里山里海の利用保全に向けた地域の課題の抽出と活動計画検討、住民の理解向上に向けたむけた研修 など

施策・課題の状況						
施策	里山里海における新たな価値の創造					評価
課題	里山里海における新たな価値の創造					
	指標	里山創成ファンド採択件数(累計)			単位	件
	目標値	現状値				
	平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	45			12	30	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算			4,700	4,184	2,180
	決算			3,890	3,115	
一般財源	予算			4,700	4,184	2,180
	決算			3,890	3,115	
事業費累計				3,890	7,005	9,185
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性						
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性						
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	いしかわ版里山づくりISO推進事業	<b>事業開始年度</b>	H23	<b>事業終了予定年度</b>	H27	<b>作 組 織</b>	里山創成室
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	石川県生物多様性戦略ビジョン			<b>成 職・氏名</b>	主任主事 山本 善述
						<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1469 内線 4274

**事業の背景・目的**  
 本県の里山里海は多くの生きものにとっての貴重な生息空間になっており、食料や伝統文化など、様々な恵みを育んでいる。しかし、都市化の進展や生活様式の変化などが相まって、里山里海の荒廃が問題となっており、県では、H23年3月に里山里海の利用保全を中心とした「石川県生物多様性戦略ビジョン」を策定したところである。  
 戦略ビジョンの重点戦略に掲げる多様な主体の参画による里山里海づくりを実現するため、H23年2月に創設した「いしかわ版里山づくりISO」制度では、企業・NPO団体・学校等が取り組む里山里海の利用保全の取り組みを認証し、活動を支援することにより、多様な主体の里山づくりへの参画を促進する。

**事業の概要**

- 1 事業の内容
  - ・いしかわ版里山づくりISOの認証
  - ・里山づくりISO認証団体の活動情報の収集と発信
  - ・里山活動団体のネットワーク化推進
- 2 認証の対象  
 企業、NPO団体、学校、地域団体等の組織体
- 3 里山づくりISOの対象活動
  - (1) 里山の田んぼ・畑づくり支援活動 → 耕作放棄地の利活用 等
  - (2) 里山の森づくり支援活動 → 森の小道づくりやキノコの山づくり活動 等
  - (3) 里山の生きものを守り育てる活動 → 侵略的な外来生物の駆除 等
  - (4) 里海づくり支援活動 → きれいな海岸や海中づくり 等
  - (5) 里山の集落コミュニティの支援活動等 → 伝統的な祭の復活や里山景観の維持活動 等
  - (6) その他里山づくりに資する活動 → 本業を通じた里山里海の利用保全
- 4 里山づくりフォーラムの開催  
 里山づくりISO認証団体の活動を広く発信することでさらなる参加者を拡大するとともに、団体間のネットワーク化の推進を図るためのフォーラムを開催
- 5 事業実施期間(予定)  
 H23～27年度(5カ年)

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	多様な主体の参画による新しい里山里海づくり					<b>評価</b>
<b>課題</b>	多様な主体の参画による新しい里山里海づくり					
	<b>指標</b>	いしかわ版里山づくりISO認証数			<b>単位</b>	団体
	<b>目標値</b>	<b>現状値</b>				
		平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		180	130	169		
<b>事業費</b>						
(単位: 千円)						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
<b>事業費</b>	予算	900	2,840	3,840	3,800	
	決算	900	2,188	3,657		
<b>一般</b>	予算	900	2,840	3,840	3,800	
	決算	900	2,188	3,657		
<b>事業費累計</b>		900	3,088	6,745	10,545	
評価						
	<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>			
<b>事業の有効性</b>  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
<b>今後の方向性</b>  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

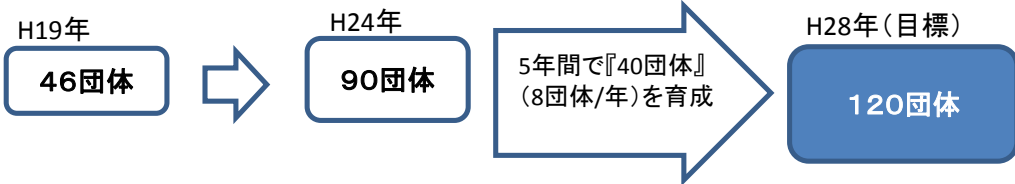
<b>事務事業名</b> 里山の森づくりボランティア推進事業	<b>事業開始年度</b>	H19	<b>事業終了予定年度</b>	H28	<b>作 組 織</b> 里山創成室
	<b>根拠法令・計画等</b>	いしかわ森林環境基金条例			<b>成 職・氏名</b> 技師 山崎 美佳
					<b>者 電話番号</b> 076 - 225 - 1469 内線 4274

**<事業の背景・目的>**  
 森林は水源のかん養や県土の保全等、さまざまな公的機能を持っている。すべての県民がこの森林からの恩恵を受けているとの認識に立ち、森林を県民共有の財産として守り育て、次の世代に健全な姿で引き継いでいくため、平成19年度から「いしかわ森林環境税」が導入された。この財源を基に「いしかわ森林環境基金事業」をスタートした。  
 「いしかわ森林環境基金事業」は当初の事業期間5年を経過することから、平成23年度に事業成果の評価と見直しを行い、5年間の取り組みについて一定の評価はできるものの、放置竹林の拡大による里山林の荒廃など、平成24年度から平成28年度までの5年間事業を継続することが決定した。  
 里山創成室では、NPOや地域住民で組織する団体などによる、自主的な里山の保全再生活動を支援し、県民参加による里山づくりを進める。

**<成果と今後の目標>**  
 いしかわり山づくりISO制度や2011年国際森林年等により、多様な主体の参画による森づくりの機運が高まっており、この機を逃さず森づくり団体の育成をさらに進める。

◇森づくりボランティアを行う団体数 (単位:団体)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
補助団体実績	14	17	14	16	13	19	-	-	-	-
団体数(現状)	46	58	59	76	82	90				
団体数(目標)							98	106	114	120



**<事業の概要>**  
 NPO団体等が自主的に行う里山の保全再生・利用活動等を支援するために、補助金を交付する。

- 事業主体: NPO、ボランティア団体、地域住民が組織する団体等  
 補助率: 10/10 (500千円限度) (1箇所平均25万円、年間18団体程度)  
 内 容 ① 里山の保全再生・利用活動  
 ② 里山に親しむための活動  
 ③ 上記の活動に必要な講習会、フォーラム等の開催

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	多様な主体の参画による新しい里山里海づくり				<b>評価</b>	
<b>課題</b>	多様な主体の参画による新しい里山里海づくり					
<b>指標</b>	いしかわ版里山づくりISO認証数			<b>単位</b>	団体	
<b>目標値</b>	現状値					
	平成25年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	180	130	169			

事業費						
<b>(単位:千円)</b>	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
<b>事業費</b>	予算	4,500	4,000	3,700	3,700	3,700
	決算	3,660	3,780	3,624	3,651	3,456
<b>一般</b>	予算					
<b>財源</b>	決算					
<b>事業費累計</b>	6,254	10,034	13,658	17,309	20,765	24,465

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b>	里山のパートナーづくり推進事業	<b>事業開始年度</b>	H24	<b>事業終了予定年度</b>	H25	<b>作 組 織</b>	里山創成室	
		<b>根拠法令 ・計画等</b>	石川県生物多様性戦略ビジョン			<b>成 職・氏名</b>	技師 山崎 美佳	
							<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1469 内線 4274

<事業の背景・目的>  
 「能登の里山里海」の世界農業遺産の認定を契機に、「里山づくりのパートナー」として企業や都市住民などの多様な主体の参画を図り、里山地域との協働活動を促すことにより、「元気な里山づくり」を一層推進するとともに、地域の活性化に資することを目的とする。

<事業の概要>

- 1 企業と里山地域との協働活動の促進
  - (1) 企業等を対象としたセミナー及びワークショップの開催
  - (2) 里山地域を対象としたセミナーの開催
  - (3) 企業等と里山地域との情報交換交流会の開催
  - (4) 里山づくりに関する情報の提供・発信
- 2 都市住民等の里山地域でのボランティア活動の促進
  - (1) いしかわ農村ボランティア事務局の運営
    - ・「農村役立ち隊」、「受け入れ隊」の募集・登録及びマッチング（一部委託）
    - ・活動の調整、進捗管理、サポート
  - (2) 農村ボランティア活動強化支援
    - ・農村ボランティア活動の実施 21地区・41回 約800名(予定) (体験版等含む)
    - ・体験版農村ボランティア活動の実施 6地区・6回 (一般向け2回、学生向け4回) 約100名
    - ・草刈り安全教室の開催 4回
    - ・農村ボランティアガイドブックの作成(委託)
    - ・NPO等との連携体制づくり など
- 3 予算額 6,000千円
  - 企業の参画促進 : 3,000千円 【一般財源】
  - 農村ボランティア : 3,000千円 【石川県ふるさと・水と土保全基金】
  - ※(予算執行) 農業政策課中山間地域振興室

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	多様な主体の参画による新しい里山里海づくり					<b>評価</b>
<b>課題</b>	多様な主体の参画による新しい里山里海づくり					
	<b>指標</b>	いしかわ版里山づくりISO認証数			<b>単位</b>	団体
	<b>目標値</b>	現状値				
	平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	180			130	169	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
<b>事業費</b>	予算				6,000	6,000
	決算				5,406	
<b>一般財源</b>	予算				3,000	3,000
	決算				2,406	
<b>事業費累計</b>					5,406	11,406
評価						
	<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>			
	事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)					
	今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

<b>事務事業名</b> 子ども里山学習プログラム推進事業	<b>事業開始年度</b>	H23	<b>事業終了予定年度</b>	H25	<b>作 組 織</b>	環境部里山創成室	
	<b>根拠法令 ・計画等</b>	石川県生物多様性戦略ビジョン			<b>成 職・氏名</b>	技師 山崎 美佳	
					<b>者 電話番号</b>	076 - 225 - 1469 内線 4274	

**事業の背景・目的**  
 2010年10月に愛知県で開催されたCOP10では、次期戦略計画である「愛知目標」が採択され、「生物多様性の損失を止めるために、実効的かつ緊急の行動を起こす」ことが2020年目標として定められるなど、今後も生物多様性の保全に関する取り組みはますます重要になっている。  
 本県でも県生物多様性戦略ビジョンの重点戦略の1つである「生物多様性への理解の浸透」、「人材育成」を推進していくうえで、次世代を担う若者に対する生物多様性、里山里海に関する理解の向上を図る。

**事業の概要**  
 H23年度に大学生を中心に組織した里山学習プログラム研究会「里山発見隊(以下「発見隊」という。)」において、大学生自らのスキルアップ(里山や生物多様性について学習等)を行った上で、夕日寺健民自然園やいしかわ動物園などの県施設を活用した里山の恵みや生物多様性等を学ぶ子ども向け「里山学習プログラム」を作成した。そして、そのプログラムを活用して、子ども達が里山里海の恵みや生物多様性などについて学ぶ機会を作った。また、発見隊の活動を通して、次世代を担う発見隊の構成員自らも里山里海の利用保全や生物多様性の保全、環境問題の課題等を学び、理解を深めた。  
 H25年度は、プログラム実施における安全確認について外部講師によるサポートを行うとともに、発見隊向けの安全対策の講習を行うことにより、H26年度から発見隊が自主的にプログラムを実施する体制を構築する。  
 以上をもって、プログラム対象者である子ども及び発見隊構成員である県内大学生の里山里海の恵みや生物多様性の理解の向上につなげる。

施策・課題の状況						
<b>施策</b>	生物多様性の恵みに対する理解の浸透				<b>評価</b>	
<b>課題</b>	生物多様性の恵みに対する理解の浸透					
<b>指標</b>	グリーンウェイブ参加団体数				<b>単位</b>	団体
<b>目標値</b>	<b>現状値</b>					
	平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	30	1	19	30	30	
事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
<b>事業費</b>	予算			2,000	1,600	615
	決算			1,750	1,600	
<b>一般</b>	予算			2,000	1,600	615
	決算			1,750	1,600	
<b>事業費累計</b>				1,750	3,350	3,965
評価						
<b>項目</b>	<b>評価</b>	<b>左記の評価の理由</b>				
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわグリーンウェイブ2013開催費	事業開始年度	H22	事業終了予定年度	H23	作成者	組織	環境部里山創成室	
		根拠法令 ・計画等	ふるさと石川の環境を守り育てる条例 石川県環境総合計画				職・氏名	技師 山崎 美佳	
							電話番号	076 - 225 - 1469 内線 4274	

■ 事業の背景  
 生物多様性保全の重要性について、未来を担う子ども達に考えてもらう機会として、国際生物多様性の日である5月22日に、世界の各地域において植樹等の活動が行われる。  
 本県でも、平成21年よりこの生物多様性の日に合わせたイベントや植樹体験等を通じ、子ども達はもとより県民へも広く生物多様性に対する理解を深める機会を提供している。

■ 事業の概要  
 本県では、COP10、「国連生物多様性の10年」国際キックオフイベントといった様々な機会をとらえて、生物多様性への理解を深めるための広報を行ってきた。「国連生物多様性の10年」の3年目にあたる本年度も、引き続き、県民の生物多様性への関心や理解を深めるため、県民に身近な里山里海が育む生物多様性とその保全について考え、実感してもらうための植樹や環境教育イベント等を国際生物多様性の日を中心に県内各地で開催する。  
 特に、5月末の世界農業遺産国際会議の開催に合わせて、H25年度は能登地域で記念植樹イベントを開催する。

(1) 記念植樹イベントの開催  
 日時:平成25年5月19日(日)  
 場所:七尾市中島町  
 参加者:中島小学校の児童、地元住民等

(2) 教育関連施設でのイベントの実施  
 日時:平成25年5月18日(土)、19日(日)  
 場所:いしかわ動物園、のとじま水族館、ふれあい昆虫館、海洋ふれあいセンター等  
 内容:中学生以下無料開放、生物多様性に関する環境教育イベントの実施

(3) 植樹や育樹等、グリーンウェイブの趣旨に則った生物多様性に関する活動実施の呼びかけ  
 期間:平成25年4月26日～6月2日  
 対象:市町、学校、里山づくりISO認証団体その他県内の団体

施策・課題の状況						
施策	生物多様性の恵みに対する理解の浸透				評価	
課題	生物多様性の恵みに対する理解の浸透					
指標	グリーンウェイブ参加団体数			単位	団体	
目標値	現状値					
平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
30	1	19	30	30		
事業費						
(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
事業費	予算	1,000	1,300	1,000	1,000	1,000
	決算	1,000	1,300	786	800	
一般財源	予算	1,000	1,300	1,000	1,000	1,000
	決算	1,000	1,300	786	800	
事業費累計	1,000	2,300	3,086	3,886	4,886	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわ里山サウンドウェイブ事業費	事業開始年度	H24	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等			
			作 組 織	環境部里山創成室
			成 職・氏名	専門員 山本 孝平
			者 電話番号	076 - 225 - 1469 内線 4275

**事業の背景・目的**  
 これまで「石川県生物多様性戦略ビジョン」に基づき、県民の生物多様性や里山里海の恵みについての理解を深めるための事業を実施してきた。  
 平成23年には「国連生物多様性の10年」がスタートしており、生物多様性を守るための取り組みを拡大し、全県的な取り組みとするため、COP10名誉大使であり、昨年より県森林公園で「MISIAの森」プロジェクトを開始したアーティストのMISIAの協力を得て、生物多様性の保全に向けた普及啓発を推進する。

- 事業の概要**
- ① 里山及び生物多様性の保全への理解を深め、石川の里山の魅力を伝える映像の作成
  - ② ①で作成した映像を使用して、県内外での情報発信  
 (世界農業遺産国際会議、里山里海展、エコプロダクツ等)

これまでの見直し状況

施策・課題の状況					
施策	生物多様性の恵みに対する理解の浸透				評価
課題	生物多様性の恵みに対する理解の浸透				
	指標	グリーンウェイブ参加団体数			単位
	目標値	現状値			
	平成25年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	30	1	19	30	30

事業費						
	(単位:千円)	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
事業費	予算				2,600	2,400
	決算				3,586	
一般財源	予算				2,600	2,400
	決算				2,586	
事業費累計			0	0	3,586	5,986

評価		
	項目	評価
		左記の評価の理由
	事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	
	今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	